

第2回国際カンカシンポ、27日に近大で

国際カンカ研究会

国際カンカ研究会は27日、近畿大学で第2回国際カンカシンポジウム研究会を開催する。シンポジウムでは、近畿大学教授の村岡修氏が(株)栄進商事との共同研究成果「カンカニクジュヨウの肝保護作用」を発表し、同大学研究員の橋本直哉氏が「カンカニクジュヨウエキス化粧品の応用」、大阪樟蔭女子大学教授の北尾悟氏が「カンカニクジュヨウの抗酸化作用」と題して講演するほか、森下仁丹(株)研究学術部の長友暁史氏も登壇する。また、中国から新疆中薬民族薬研究所所長の賈曉光氏が、日本人に多い塩分摂取過多による高血圧症に対する「カンカニクジュヨウの血圧降下作用」を発表。さ

らに特別講演として、中国国内で三指に数えられる漢方薬剤メーカー天津天士力グループの研究開発部が「丹参の効能効果に関する科学的評価」について解説する。

カンカは、中国では滋養強壮などの目的で食され、認知症改善薬として認可されている。近年では日本国内でも研究が進展、抹消血管の拡張や女性更年期障害改善などの作用が報告されている。また、美白作用が期待できることから化粧品への応用も進んでいる。シンポジウム参加費は5,000円、懇親会費5,000円。問合せは国際カンカ研究会事務局・近畿大学薬学総合研究所内(☎06-6730-5880)まで。

▲健康産業新聞 2008.11.5

第2回国際「カンカ」シンポジウム、大阪で開催

が報告され、用「森下仁丹研究学術部」長友暁史氏

△(予定)

11月27日に近畿大学(大阪府東大阪市)で、第2回国際「カンカ」シンポジウム開催される。カンカは、タクラマカン砂漠などの砂漠地方に自生する紅柳の根部に寄生する食用多年生植物で、ハマツボ科ニクジュヨウ属に属する。中国では、カンカを原料とした認知症改善薬が認可されており、日本では末梢血管の拡張や肝臓保護作用などの作用

「カンカニクジュヨウの肝保護作用」近畿大学教授・村岡修氏
「カンカニクジュヨウエキス化粧品の応用」近畿大学研究員・橋本直哉氏
「カンカニクジュヨウの抗酸化作用」大阪樟蔭女子大学教授・北尾悟氏
「カンカニクジュヨウの血圧降下作用」新疆中薬民族薬研究所長・賈曉光氏
「カンカニクジュヨウ配合食品と医薬品の相互作用」北京大学教授・屠騰飛氏
特別講演「丹参の効能効果に関する科学的評価」天津天士力グループ研究開発部(中国の上場漢方薬剤メーカー)

第2回国際「カンカ」シンポジウム プログラム(予定)

講演タイトル/発表者
カンカニクジュヨウの肝保護作用 /近畿大学教授 村岡修氏
カンカニクジュヨウエキスの化粧品への応用 /近畿大学研究員 橋本直哉氏
カンカニクジュヨウの抗酸化作用 /大阪樟蔭女子大学教授 北尾悟氏
カンカニクジュヨウの血圧降下作用 /新疆中薬民族薬研究所所長 賈曉光氏
カンカニクジュヨウ配合食品と医薬品の相互作用 /森下仁丹(株)研究学術部 長友暁史氏
カンカニクジュヨウの成分と薬理 /北京大学教授 屠騰飛氏
特別講演 丹参の効能効果に関する科学的評価 /天津天士力グループ 研究開発部

第2回国際「カンカ」シンポジウム 27日に近畿大キャンパスで開催

「カンカニクジュヨウの血圧降下作用」新疆中薬民族薬研究所長・賈曉光氏
「カンカニクジュヨウ配合食品と医薬品の相互作用」北京大学教授・屠騰飛氏
特別講演「丹参の効能効果に関する科学的評価」天津天士力グループ研究開発部(中国の上場漢方薬剤メーカー)

ヘルスライフビジネス 2008.11.1 ▲

健康産業流通新聞 2008.11.8 ▼

「国際「カンカ」シンポジウム」(主催・国際カンカ研究会)が十一月二十七日午後一時三十分より、近畿大学本部キャンパスで開催される。滋養強壮作用など多様な機能が明らかにされているカンカの最新研究成果を、近畿大学や栄進商事などの研究機関や企業が報告する。

昨年三月に続いて二回目の開催となる今回も、複数の研究成果が報告される。また、特別講演として中国の漢方薬剤大手、天津天士力グループ(TASLY)の研究開発部員が登壇する。

参加費は五〇〇〇円。会場は近畿大学十一月ホール小ホール。時間は一七時まで。一七時三十分より同大内で懇親会(参加費五〇〇〇円)も開催される。

問い合わせは、国際カンカ研究会事務局・☎〇六―六七三〇―五八八〇(内線五〇〇一)、近畿大学薬学総合研究所)迄。